

BITCH OF THE JUNGLE

密林勇者奴隸化計画 © 田亀源五郎



R-18
For Adult

Bear's Cave 

BITCH OF THE JUNGLE

密林勇者奴隸化計画 © 田亀源五郎



Gen.



【これまでのおはなし】

昭和十年のマレー半島。日本人考古學者の谷本とドイツ人冒険家のクラウゼンは、『マライのターザン』と呼ばれる野人・バトゥ(石)に導かれ、密林の奥に眠る傳説の『赤い都』を発見した。そこは七世紀にシュリーヴィジャヤ王国が、宗教的な秘儀のために築いた秘密の都市であつた。一行はそこで、木乃伊のような姿をした奇怪な僧侶・クンバカルナと出会つた。この怪僧は、元は十一世紀のインド・チョーラ王国のバラモン僧であり、王の東征に隨行してこの『赤い都』を訪れ、そこに隠されていた秘儀によつて不死身の魔術師となり、以來數百年を孤独に生きながらえていた。

クンバカルナは妖力を用いて、隠されていた各々の正体をあばいた。谷本とクラウゼンは、実はどちらも日本とドイツの軍事間諜であり、その目的は探險や考古學的発見などではなく、『赤い都』に隠されている莫大な黄金を母国の軍資金として手に入れることと、その地に埋藏されている石油資源の獲得であつた。そしてバトゥの本当の名前は石上滋といい、三十年前にスマトラで消息を絶つた日本の探險家・石上甲治子爵と、その妻でありランカスカ王家の血をひくラジャ・クニン姫の間に産まれた一人息子だつた。石上夫妻は不幸な事故で共に亡くなり、幼い滋は密林に隠れ棲む類猿人、オラン・ペンデクによつて育てられた。そして遅く成長して人間社会に復歸すると、父から受け継いだ義侠心と母から受け継いだ郷土心で、帝国主義者たちによる植民地支配に抵抗する、解放運動の闘士となつたのだ。

谷本とクラウゼンは、クンバカルナと手を結びバトゥを毒殺しよう
と企んだが、バトゥの肉体に欲情したクンバカルナは、毒を媚薬にす
り替えてしまった。古代の恐るべき秘薬の力は、密林の雄で抵抗の闘
士であつた高潔な男を、常に発情している淫らな雌猿へと変えてしま
つた。その変貌を面白がつた谷本とクラウゼンは、バトゥの處分を保
留して、しばらくなぶり者にして愉しむことにした。

密林に隠された古代の都で、精液と血にまみれた淫虐の宴が繰りひ
ろげられた。既にバトゥの男根は、どんな苦痛や辱めにも萎えること
はなかつた。それどころか、理性を狂わす被虐の悦びに悶えながら、口
や尻で飽くことなく精液を求め続けた。そして、そんな淫獣に堕ちた
英雄の姿が、谷本とクラウゼンの嗜虐の炎に、ますます油を注ぐので
あつた。

二人は次第に、バトゥを独占をしたいがために、互いにいがみ合う
ようになった。密林に不穏な空気が立ちこめた。それを見たクンバカ
ルナは、怪しくほくそ笑むと、いずこかへ姿を消した。やがてクラウゼ
ンは、谷本の暗殺を試みるまでになつたが、返り討ちにされ、遺跡の石
壁を血に染めて斃れた。

遂に密林の淫獣・バトゥを我が者にした谷本は、己の獲物連れ
て《赤い都》を後にするのだつた……。

※「これまでのおはなし」というのは半分ジョークで、
そういうマンガがあるわけではありません。







少佐殿…
これは
まさか…!?

ふふふ
そのまさか
だよ

密林の王者
自由の闘士
野人バトウ
こと…

石上^{いしがみしげる}滋^{しげる}の
成れの果て
だ!!

う…
む…
っ

むぐう…
ぐむ…
むう